



# ライン・プロポーションナー FP-40・360

## 取り扱い説明書

### 項目

1. 概要
2. 特長
3. 仕様
4. 構造及び機能
5. 使用方法
6. 注意事項



## 1. 概要

ライン・プロポーションナーは送水ポンプからノズルまでのラインの中間に接続して、泡消火薬剤を吸引し、混合水を作ることができる機器です。

木造建物や林野火災に最適な**クラスA泡**及び、油火災の**クラスB泡**にも適用出来る泡混合システムです。

## 2. 特長

- 1) 取扱いが大変簡単で便利です。
- 2) スィーベル機能を備えたピックアップチューブ付です。
- 3) 0、0.25、0.5、1、3、6%の混合比が選べます。
- 4) 材質はアルミニウム合金（耐食表面処理）で軽量、コンパクトです。
- 5) ホース接続は1次側が呼40及び呼50差込式受け金具、2次側が呼40及び呼50差込式差し金具です。

## 3. 仕様

- 1) 名称：ライン・プロポーションナー（エダクター方式）
- 2) 型式：FP-40・360
- 3) 設定混合比：OFF、0.25、0.5、1、3、6%
- 4) 実質流量：360L/min.（1次側流入圧力1.4MPa）
- 5) 寸法／重量：L=315mm／W=2.2kg
- 6) 接続口：1次側（入口）40または50差込式受け金具（JIS B9911）（スィーベル方式）  
2次側（出口）40または50差込式差し金具（JIS B9911）
- 7) 適用ノズル：クアドラフォグノズル（流量設定レンジ360以上）  
ツイスターノズル（360L/min以上）  
G-フォース・セレクトラブルトリガー（流量設定レンジ360以上）

## 4. 構造及び機能

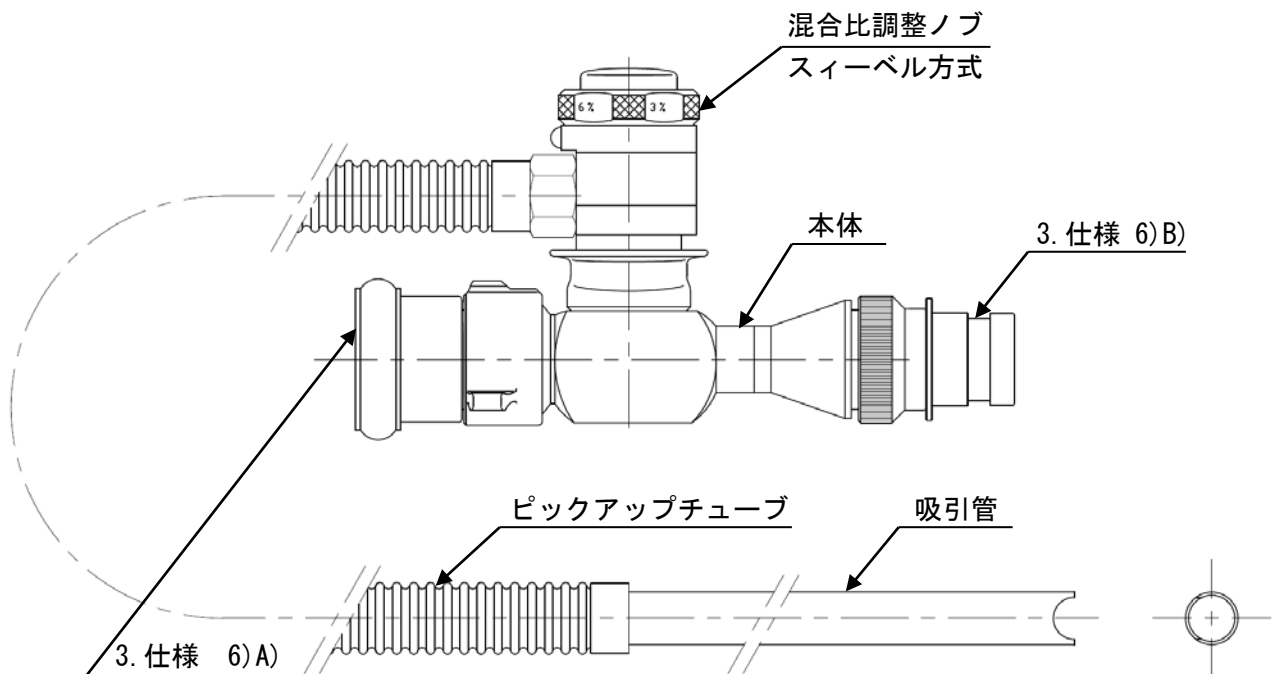


図1

## 5. 使用方法

- 1) ラインプロポーショナーは吐水口もしくは送水ホースの中間に接続してご使用ください。  
(図2参照)  
又、ホースの使用可能本数は **40A で 20m ホース一本、50A で 20m ホース 5本** までです。  
※) 上記本数は参考値です。圧力損失(ホース性能及び接続環境)により吸引ができなくなる場合があります。下記の表にてご確認ください。
- 2) ラインプロポーショナー入口圧力は 1.4MPa でご使用ください。
- 3) 推奨ノズルとして、クアドラフォグノズル(流量レンジ 360)  
ツイスターノズル(流量 360L/min 以上)、G-フォースセレクトダブルノズル(流量レンジ 360)  
で最適な混合性能が得られます。
- 4) クアドラフォグノズルをご使用の際に発砲を必要とする場合は、クアドラフォグノズル専用の泡用アタッチメントである **LX フォームジェット(低発泡用)** または **MX フォームジェット(低～中発泡用)** をご使用ください。  
また G-フォースセレクトトリガーの場合は、G-フォースセレクトトリガー専用の泡用アタッチメントである **LX-G フォームジェット(低発泡用)** または **MX-G フォームジェット(低～中発泡用)** をご使用ください。(図3参照)

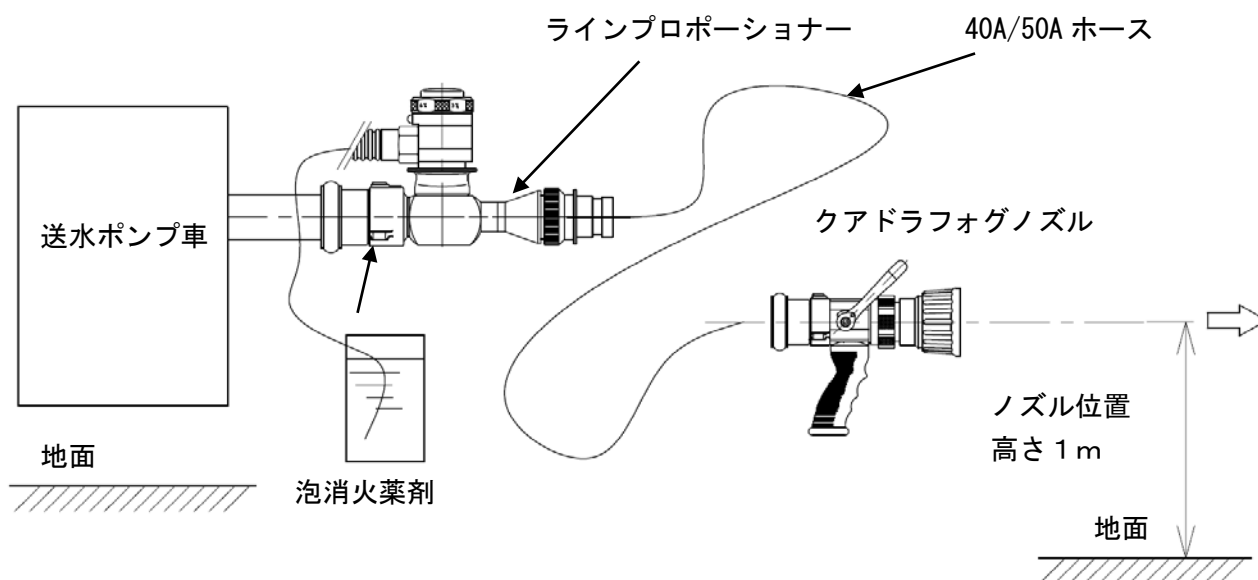


図2

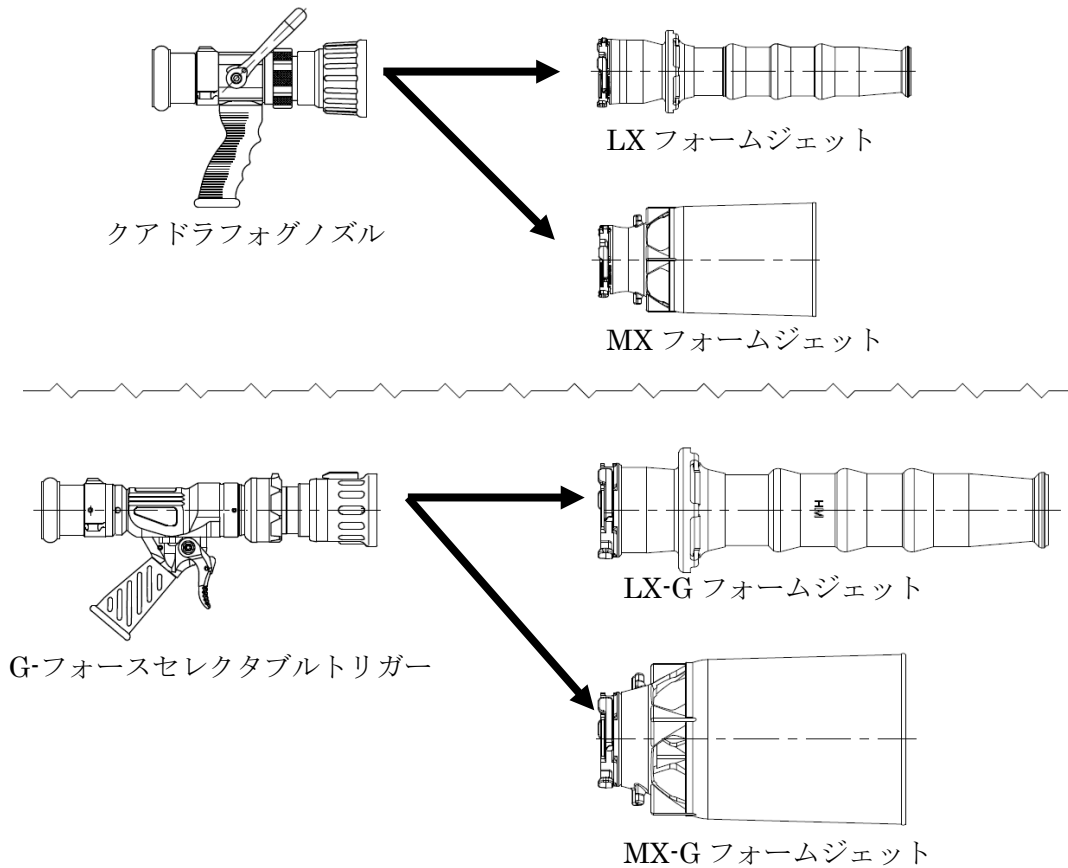


図 3

## 6. 注意事項

- 1) ライン・プロポーションナーは、ノズル吐出量やプロポーションナー吐出側のホース長さ、ノズル位置高さ等による圧力変化に非常に敏感ですので、取扱いはご確認の上使用願います。
- 2) 保守、点検及び使用上の注意

注1 ピックアップチューブのスィーベル機能使用時は、混合比調整ノブのOFF (0%) 以外を選択して下さい。

注2 水の流れ方向に充分ご注意の上、取り付けて下さい。

注3 使用後は水を吸引（混合比調整ノブを回して）洗浄し、又、付着した土砂等を洗い流して下さい。

注4 泡消火薬剤が吸引出来ない場合

1. 使用ノズルが適切かどうかの確認 (360L/min. at 0.7MPa)
2. 使用レンジが適切かどうかの確認 (入口圧力 約 1.4MPa)
3. ライン・プロポーションナー1次側流入圧力が適切かどうかの確認 (0.7 MPa~0.8MPa)
4. 消火用水に油脂又は著しい汚れが混じっていないかどうかの確認
5. 混合比調整ノブの確認 (OFF位置以外)
6. 原液吸液ラインのチェック  
(ストレーナーの目詰まり、ホース接続部の緩みによるエアの混入等)
7. 最大ホース延長、ノズル位置高さのチェック

注5 寒冷時には、泡消火薬剤の粘度が高まり、実際の混合比が低くなるため、混合比調節ノブの設定を上げて下さい。

- ◎ 差込式結合金具は差し金具と受け金具が完全に結合したかご確認下さい。
- ◎ 差込式結合金具は使用中には押し輪に絶対手を触れないで下さい。
- ◎ 差込式結合金具に動きの悪いツメがあるときや、締め輪と受け金具に緩みのあるもの、差し金具との結合に不具合のあるものは使用しないで下さい。
- ◎ 本体と受け金具や差し金具に緩みのあるものは使用しないで下さい。
- ◎ パッキン、Oリングが取り付けられているか、劣化していないか点検して下さい。劣化しているものを使用しますと漏水の原因になります。

\* 万一、不適切なご使用による事故等が発生しましても責任を負いかねます。

|       |            |                    |                    |
|-------|------------|--------------------|--------------------|
| ※ 連絡先 | ヨネ株式会社京都本社 | TEL : 075-821-1185 | FAX : 075-801-2263 |
|       | 東京支店       | TEL : 03-3634-6611 | FAX : 03-3632-0246 |